

九州体育・保健体育ネットワーク研究会、 北海道・東北ネットワーク研究会、 北信越ネットワーク研究会 台湾ラウンド

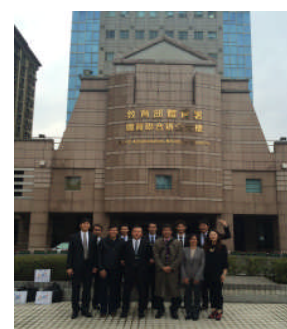
平成 28 年 3 月 17 日(木)～18 日(金)



ネットワーク研究会初の台湾ラウンドが開催されました。佐藤 豊 先生（鹿屋体育大学 教授）を団長とし、青木 哲也 先生（福岡教育大学 教授）吉野 聡 先生（茨城大学 准教授）、清田 美紀 先生（広島県教育委員会 指導主事）、木原 慎介 先生（東京国際大学 講師）、大津 展子 先生（茨城大学 講師）、四方田 健二 先生（名古屋学院大学 講師）、椿 和浩（福岡教育大学大学院生）、本多 壮太郎（福岡教育大学 准教授）の計 9 名で、台湾文科省、小・中・高等学校、台湾師範大学を訪問し、熱烈な歓迎を受ける中、様々な意見交換を行ってきました。

1. 台湾文科省訪問

ラウンドは、17 日午前の台湾文部科学省の訪問でスタートしました。教育部體育署・學校體育組組長である葉 丁鵬 博士による直々のお出迎えを受け会議室にて「教育部體育署組織概述」「學校體育目標」「學校體育現況説明」「學校體育發展策略」「核心指標」の説明をいただきました。質問の時間も設けていただき、バッグや台湾の國民體育日（国体）の DVD などのお土産も頂戴しました。



2. 台北市立中山女子高級中学訪問

17 日の午後は、台湾女子教育のさきがけであり、現在でも台湾の女子教育機関として確固たる地位を築いている中山女子高級中学校（高等学校）を訪問しました。吳 麗卿 校長先生をはじめとする先生方へのご挨拶の後、屋内プールでの水泳、バスケットボール、バドミントン、ヨガ、ゴルフの授業の様子を見学させていただきました。台湾の学校では「Sports Health 150（SH150）」と言われる政策により、体育授業以外での週 150 分の身体活動の時間の確保が定められています。中山女子高級中学の場合は、エアロビクス、バレーボール、ジョギング、ヨガが採用されていました。



3. 台湾師範大学でのプレゼンテーション

台湾式歓迎！を受けた夕食の後は、台湾師範大学において佐藤先生による日本の学校体育の方向性に関するプレゼンテーションが行われました。ファイナルラウンドにお越しいただいたチン・ウェイ先生を含む大学の先生方や大学院生など参加者は皆、熱心に聞き入っていました。

4. 新北市文徳国民小学校訪問

2日目の午前は、新北市文徳国民小学校を訪問しました。正門を過ぎてすぐに迎えてくれたのは、電光掲示板による歓迎のメッセージと妖怪ウォッチの主題歌に合わせて踊る児童たち！あいにくの雨により屋内での体育の授業となりましたが、限られたスペースの中、子どもたちの活発な動きと協同的思考を刺激するよい授業を見学することができました。授業後の懇談会では、授業に関する質問や、体操、エアロビクス、縄跳び、ジョギングといったSH150の実施による教員の負担等について質問することができました。



歓迎ボード



校長先生と



PTA 会長と

5. 新北市立鷺江国民中学校訪問

2日目の午後は、新北市立鷺江国民中学校にお邪魔しました。謝 承殷 校長先生からの歓迎の挨拶、互いの自己紹介の後、学校の取り組みの様子を紹介するDVDの視聴と記念撮影を行いました。ここから学校見学、授業観察、懇談会と続くのですが、私はここでタイムアップ。飛行機の都合で泣く泣く学校を後にしました。他の訪問先も含めて詳細は資料室の報告書をご覧ください。



学校正面



歓迎ボード



皆で記念撮影

中身の濃い、あっという間の2日間でした。どこを訪問しても先生方の熱心で自発的、協働的な取り組みやが授業や政策実施の源になっていることがよくわかりました。台湾にしては若干肌寒い気温でしたが、それも気にならないほどの熱い歓迎を受けました。台湾の皆様、本当にありがとうございました。今回このような機会を作っていただきました佐藤先生、同行して下さった先生方にも深く感謝いたします。
(文責 本多壮太郎)